

大山町議会議員 野口俊明様

大山町議会議員 西尾寿博



第2回市町村議会議員特別セミナー

日時 平成28年8月4日～8月5日

場所 滋賀県 市町村アカデミー

講演 1 「医療機関・住民とともに地域医療を支える取組」

講師 自治医科大学 地域医療学センター長 梶井英治

鳥取県出身の先生は、自治医大を卒業されて鳥取県の日南病院を皮切りに鳥取中央病院では6年間地域医療に従事された経緯があり、とても親しみの持てた講師でした。

医師不足で経営が危ぶまれた病院は住民、職員等を巻き込んだ取り組みにより黒字化になっている。しかし、その病院も人口減などの原因で診療所になりそうだ？

講演 2 「地域まるごとケア」(医療の現場から)

講師 東近江市永源寺診療所 所長 花戸貴司

住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けるためにはどういう取り組みをすればいいのかを現場からの話を中心に明るく解りやすく説明された。

また、「3方よし研究会」 患者よし 機関よし 地域よし
地域社会の様々な資源を生かした地域連携型医療を実践されていた。

講演 3 「介護予防の公的責任と自治体」

講師 埼玉県和光市保健福祉部 部長 東内京一

光市における超高齢化社会に対応した地域包括ケアシステムの実践を基に相当な資料でエネルギーに説明を受けました。介護支援事業の法整備に関わった人らしく専門的な知識をお持ちの講師であった。

講演 4 「地域を健康にするまちづくり」 Smart Wellness City
講師 筑波大学大学院 教授 久野譜也

70歳以上になった女性が転倒で骨折する方が多くなる。
転ばない努力が必要（サルコペニア予防） 自然に歩かされる、歩きたくなるまちづくり。

まとめ

国は地域包括ケア体制作りをすすめています。自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように。

その成功例として西脇市、小山市の取り組みを取り上げそのポイントが行政による条例制定、基本計画の策定等と積極的に施策を実行する覚悟が必要。

1. 地域力を向上させる「場」
 - 自治体による立ち上げ
 - 自治体以外による立ち上げ
2. 場を機能させる「仕組み」 (持続的に機能させる仕組み)
 - 財政的な支援
 - 住民参加の促進
 - コーディネーター機能
3. 地域力の基礎となる「人」 (人づくり)
 - 住民意識の醸成
 - 地方自治体職員の意識改革

地域医療とは

地域で医療を行うというだけでなく、医療をとおしての「地域づくり」

病院に行ける人は元気な方 = 自分のことは自分でできる（普段の生活が自分でやれる）
介護度が上がると事業所が儲かる。 おかしい？ 改善されたら儲かる仕組みにならないか。

不便さが、実は健康の窓口であったりする（価値観は時代で変わる）

東京都日野市 岐阜市
ドイツ フライブルク市 世界一の環境都市
フランス ナント市 公共交通の優先 フランスで最も住みやすい都市

地域包括医療の推進にあたってはそれぞれの機関があるいは施設、人が地域力をうまく使いこなすことが大事、そして、総合的な判断を下す自治体の覚悟が必要だと思いました。